

日・ハ150周年、そしてカルミナ新境地へ

「音楽とは歌、歌とは言葉、言葉とは心なんだ！」

巨匠・小林研一郎の教えであり、武蔵野合唱団の信条である。

12～14世紀の吟遊詩人や若い修道僧たちによる世俗的な感情が剥き出しとなった詩をテキストに、20世紀の作曲家カール・オルフによって完成された世俗カンタータ「カルミナ・ブラーナ」。ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団(指揮:小林研一郎)を招聘、開催した創立50周年記念定期(カップリングは今回と同じ「1812年」)以来、13年ぶりに定期演奏会で取り上げる。

映画やCMで人気を博し、独特な旋律とリズムが印象に残る「カルミナ・ブラーナ」だが、根底に流れるのは怒りや恋愛、酒や性など、ストレートな若者

の言葉である。読売日本交響楽団をはじめ、共演者に恵まれた本公演。冒頭の言葉を胸に、この曲に込められたドラマを全力で歌いあげたい。

なお今年2019年は、当団が長年に亘り交流を続けてきたハンガリーと日本の外交関係樹立150周年である。これを記念し、来年2020年には第5回となるハンガリー演奏旅行を開催、ハンガリー国立フィルと同曲の再演を予定している。

熱情迸るコバケン×武蔵野の「カルミナ・ブラーナ」。今この瞬間の音楽に、ご期待ください

HJ

150



©山本倫子

小林 研一郎

Kenichiro Kobayashi

読売日本交響楽団特別客演指揮者。

東京藝術大学作曲科および指揮科卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。

ハンガリー国立交響楽団音楽総監督、日本フィル音楽監督をはじめ、国内外のオーケストラのポジションなどを歴任。ハンガリー政府よりリスト

記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、2010年にはハンガリー文化大使の称号が授与されている。2011年文化庁長官表彰を受け、2013年秋の叙勲では旭日中章が授与された。2005年からは社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」で活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生などのボランティアメンバーと共に全国でチャリティ公演も行っている。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルおよび名古屋フィルの桂冠指揮者、九州交響楽団の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、長野県芸術監督団音楽監督、東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授などを務める。2019年4月、群馬交響楽団ミュージック・アドバイザーに就任。

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra



1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。今年4月にはS.ヴァイグレが常任指揮者に着任する。東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を多数開催。2017年11月にはメシアン之歌劇《アッジの聖フランチェスコ》(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位となったほか、「第49回(2017年度)サントリー音楽賞」を受賞した。

《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読売シンフォニックライブ」で放送されており、動画配信サイト「日テレオンデマンド」でも好評を博している。



澤江 衣里(ソプラノ)

Eri Sawae

東京藝術大学大学院博士課程修了。日本音楽コンクール入賞。《ドイツ・レクイエム》、《カルミナ・ブラーナ》や《メサイア》など多数の作品でソプラノソロを務める。しなやかで温かみのある歌声を生かし、幅広いレパートリーを持つ。NHKテレビ番組「名曲アルバム」でのバッハのアリアの演奏や、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。



高橋 淳(テノール)

Jun Takahashi

東京音楽大学大学院を経て二期会オペラスタジオマスタークラス修了時に優秀賞受賞。06年G.アルブレヒト指揮RAI国立交響楽団と共にザルツブルク音楽祭に出演、ヘンツェ『午後8時の曳航』(演奏会形式)の登役を歌い成功を収める。「カルミナ・ブラーナ」では個性豊かな歌唱で高い評価を得、我が国に於ける第一人者としての地位を確立。二期会会員



大沼 徹(バリトン)

Toru Ohnuma

東海大学大学院在学中フンボルト大学(独)へ留学。更に五島記念文化賞オペラ新人賞受賞によりマイセンで研鑽を積む。二期会『オテロ』イアーゴ、新国立劇場『蝶々夫人』シャープレス等で活躍。ツインマーマン「若い詩人のためのレクイエム」(日本初演)等で高い評価を得る。19年「NHKニューイヤーオペラコンサート」に初出演。二期会会員

フレーベル少年合唱団 The Froebel Boys' Choir



株式会社フレーベル館の情操豊かな子どもたちを育む文化・社会貢献事業として、1959年に誕生した少年だけの児童合唱団です。創立以来数百名のOBを輩出し、現在の団員数は97名。年1回の定期演奏会のほか、オーケストラとの共演、オペラへの出演、各種演奏会、テレビ出演、レコーディングなど、様々な分野で活動しています。

武蔵野合唱団 Musashino Chorus

1955年に武蔵野市緑町の市民サークルとして誕生。1965年には小林研一郎氏を指揮者に迎え、現在まで指導を受ける。これまでに小林研一郎氏、山田一雄氏、本名徹次氏、下野竜也氏、山田和樹氏、松井慶太氏等を指揮者に招き国内外のオーケストラと共演。定期演奏会に加え、地方演奏旅行、依頼演奏会への出演など活動は多岐に渡る。

これまでに4回のハンガリー演奏旅行、ハンガリー国立フィルやスイス・ロマン管弦楽団を迎えて数多くの国内演奏会を開催。一流音楽家との質の高い演奏を目指しつつ、国際文化交流への取り組み、自主独立の運営によるアマチュア音楽文化の発信を活動の柱とする。2020年には第5回となるハンガリー演奏旅行を開催予定。団員、随時募集中。